

2019年9月期 中間報告書

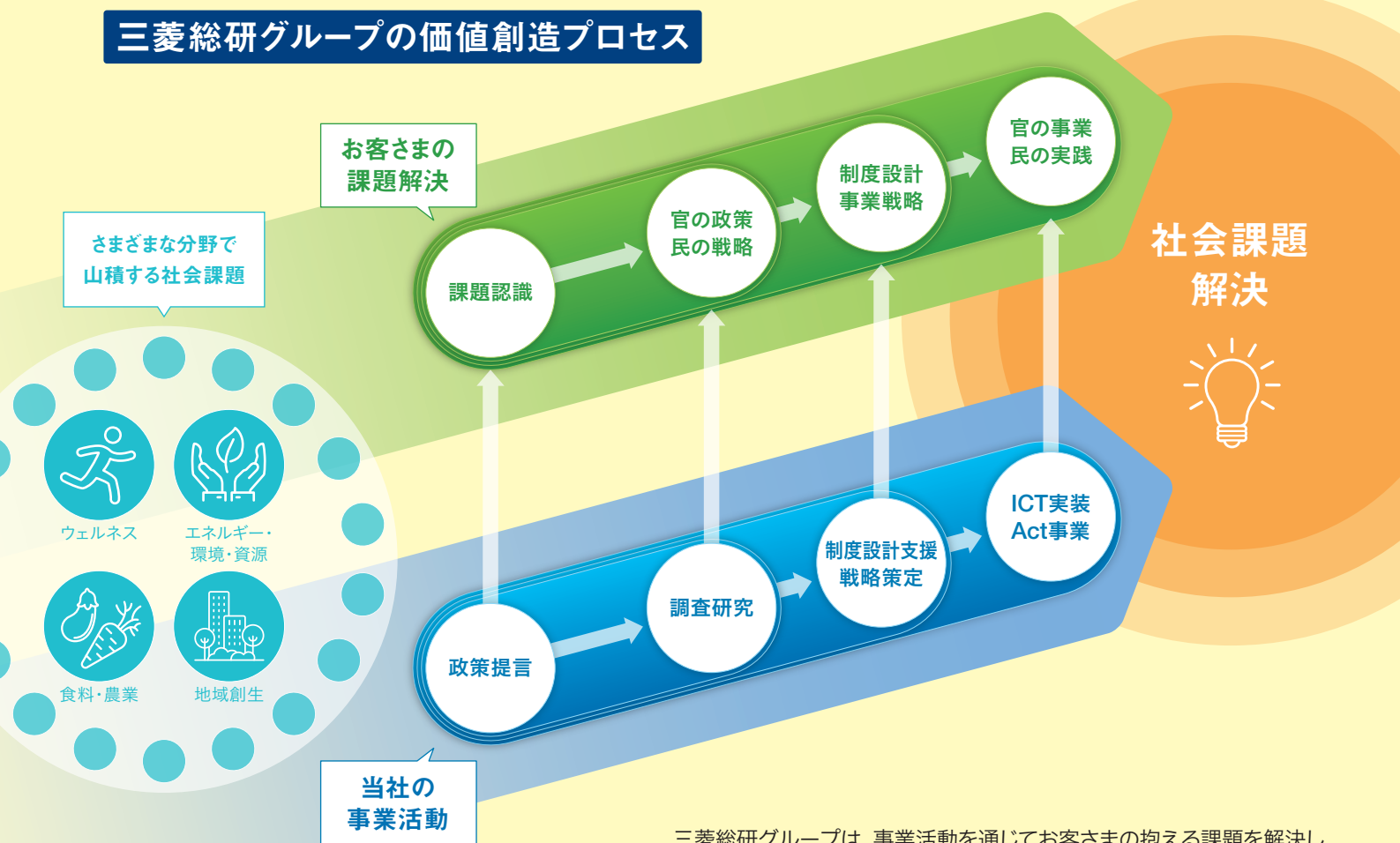
2018年10月1日～2019年3月31日

証券コード：3636



社会課題の解決を通じて 豊かな未来社会の共創に取り組んでいます

三菱総研グループの価値創造プロセス



三菱総研グループは、事業活動を通じてお客さまの抱える課題を解決し、さらにその背後に存在する社会課題の解決を目指しています。事業活動は、当社グループの強みを活かす「価値創造プロセス」を通じて行っています。政策提言や調査研究から、具体的な制度設計・事業戦略の策定、それらの社会実装まで担うことで、豊かな未来社会を創造してまいります。



株主のみなさまには平素格別のお引き立てとご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、社会とお客さまの課題を解決する総合シンクタンクグループとして、シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)とITサービス(ITS)の両輪で事業を推進し、双方の連携・シナジーによる持続的成長を目指しております。

中期経営計画2020(2018年9月期～2020年9月期、以下「中計2020」)の2年目にあたる今年度は、官民を横断する領域での「官民共創ソリューション事業」やAI(人工知能)などの先進技術を活用した新しいサービスにより、事業の拡大を図ってまいりました。

第2四半期累計期間のTTCにおいては、官公庁の上期完了案件の増加や、ストック型などの新事業が奏功したことに加え、利益率が向上した結果、増収・増益となり、中計2020の取り組みに手応えを感じています。

一方ITSにおいて、前期発生した課題案件による影響から、大幅な減収・減益となった結果、同累計期間の連結業績は、減収・減益となりました。

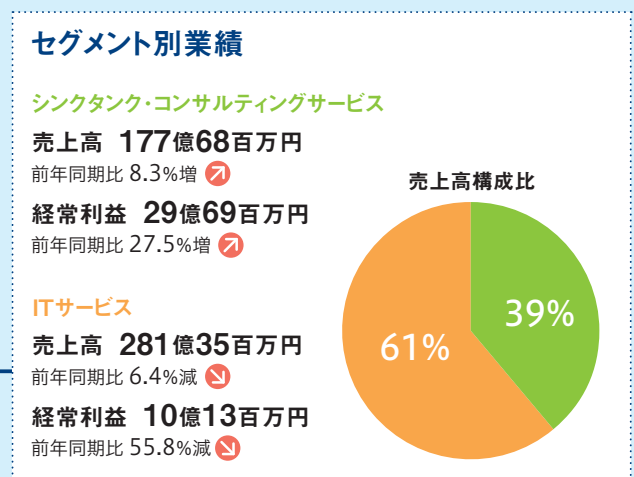
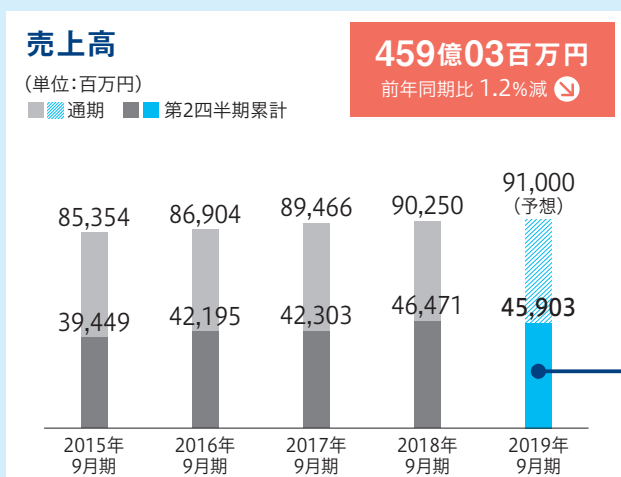
通期の業績予想は、当社グループの足もとの受注状況および今後の見通しなどを踏まえ、修正いたしました。また、中間配当は、期初予想どおり1株当たり45円としております。

課題案件については、株主をはじめみなさまに多大なご心配・ご迷惑をおかけしましたことを、あらためてお詫び申し上げます。再発防止策を徹底し、PDCA(計画・実行・評価・改善のサイクル)を回すことで、業績の回復に努めてまいります。

持続的で豊かな社会の発展に貢献することで「未来共創」を目指す当社グループに、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

森崎 寿



万博推進室を設置、レガシーづくりに積極的に取り組んでいます

2025年に開催される大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」「未来社会の実験場」がテーマ・コンセプトです。当社は1月にいち早く万博推進室を設置、3月には多数の企業・団体の参加を得て「万博みらい研究会」を発足させました。当社は、2005年愛知万博、2020年ドバイ万博など博覧会開催支援の豊富な実績を積み重ねてきました。大阪・関西万博においても、地域、企業、ベンチャー、研究機関などとの共創を通じて、未来社会の実験場としての成功を支援するだけでなく、その成果をレガシーとして次世代につないでまいります。



多彩な社員がいきいき働くための、働き方改革をすすめています

当社グループは「多彩な個性による総合力の発揮」を経営理念に掲げ、社員が働きやすい環境整備をすすめています。その一環として仕事と生活のバランスをとりながら働いている例をご紹介します。

M主任研究員の専門はサイバーセキュリティ。海外の動向調査、国内企業のセキュリティ対策の調査などを担当しています。家族の予定に応じてテレワーク勤務を活用し、急な予定変更にも柔軟に対応しています。T研究員は防災・安全が専門。日本の防災技術の海外展開策や製品安全に関するコンサルティングを行っています。子どもの成長にあわせて時短勤務を活用、繁忙時などプラスαの仕事時間をテレワーク勤務で実現しています。今後とも、社員の働きがいを高めることを目指し、働き方改革に取り組んでまいります。



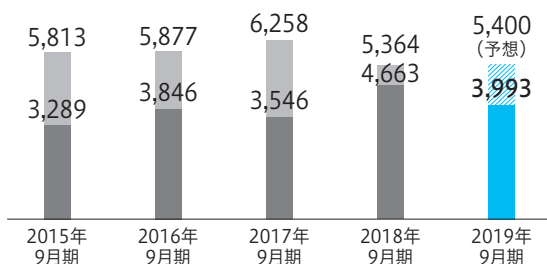
M主任研究員

T研究員

経常利益

(単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



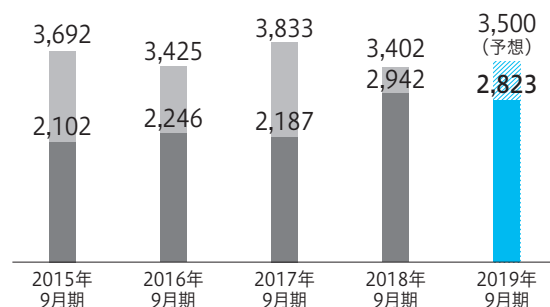
39億93百万円

前年同期比 14.4%減

親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(単位:百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



28億23百万円

前年同期比 4.0%減

株主アンケートへのご協力ありがとうございました

2018年9月期決議通知に同封のアンケートにご協力賜り、誠にありがとうございました。今回お寄せいただきました株主さまのご意見、ご要望を今後の活動に活かしてまいります。今回もアンケートを同封させていただきました。ご回答のうえご希望いただいた方には、当社が発行する未来読本『フロンセス』最新号をお届けいたします。2019年7月13日締切(当日消印有効)です。

Q & A ご質問にお答えします。

Q 社会の進化にどう貢献しているか知りたい！

A 例えば、デジタルトランスフォーメーションの波がビジネスや企業のあり方を大きく変えようとしています。働き方改革、生産性向上、イノベーションといった企業ニーズに対して、モノのインターネット(IoT)、ロボティクス、AI、ブロックチェーンなどの新技術を活用したソリューションをパートナーと共創して提供しています。

最近の主なニュースリリースのご紹介

- 2018～2020年度の内外景気見通し—不透明感強まる世界経済、20年にかけて成長減速へ(2/15)
- 自治体向けAIによる住民問い合わせ対応「AIスタッフ総合案内サービス」関連(2/7・2/12・3/6・4/10)
- Chaintopeと「ブロックチェーン技術を活用した基盤・サービス等」の開発検討で合意(2/8)
- メルカリとシェアリングエコノミーに関する共同研究実施—シェアリング時代の新たな消費モデル(2/26)
- シマントとデータ分析サービスの開発検討で合意(3/18)

詳細は、当社ホームページでご覧いただけます。



www.mri.co.jp/news/index.html

株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 12月

基準日 定時株主総会議決権行使株主確定日 9月30日
期末配当金支払株主確定日 9月30日
中間配当金支払株主確定日 3月31日
(上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ定めた日)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
0120-232-711
(フリーダイヤル 9:00～17:00 土・日・祝日を除く)

郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株主還元 (2019年9月期1株当たり配当金)

中間配当

45円

前年同期比 5円増額

期末配当(予想)

45円

前年同期と同額

年間配当(予想)

90円

前期比 5円増額

公式サイト投資家情報のご案内

ir.mri.co.jp/ja/index.html

決算説明会動画配信中

2019年5月8日に開催した2019年9月期第2四半期決算説明会の模様を当社ホームページでご覧いただけます。(2019年7月中旬まで)



IRメール配信サービス登録受付中

当社からのニュースリリース、決算発表、そのほかIRに関する情報を電子メールでお知らせします。投資家情報トップページよりご登録ください。



MRI 株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
TEL 03-6705-6001 www.mri.co.jp

